

第 2 次浜松市がん対策推進計画中間評価 「数値目標」に関する自己評価結果（最終案）

◎：目標達成 ○：目標達成に向けて順調に推移 △：未着手、現状値なしなど
×：目標達成が厳しい状況 ー：評価不能

1 計画目標

(1) がんの予防

成人の喫煙率の減少を目指す。

(出典) 健康はままつ 21 中間評価・後期計画

項目	平成 28 年度	現状	中間評価	目標(令和 5 年度)
喫煙率(20～29 歳)	4.2%	ー 来年度アンケート 実施予定	ー R4 年度アンケート 実施予定	減少
喫煙率(30 歳以上)	10.2%	ー 来年度アンケート 実施予定	ー R4 年度アンケート 実施予定	10.0%

※平成 28 年度 健康増進計画等の評価における健康調査として実施

成人の喫煙率に関する項目は、青年期・壮年期(20～44 歳)、中年期(45～64 歳)、高齢期(65 歳以上)の区分でそれぞれ 1,000 人、計 3,000 人へ調査

○総合的な評価

R4 年度に実施するアンケートで評価する。

○中間評価「×」に対する対応

該当なし

(参考) 浜松市国民健康保険の特定健診受診者(40 歳以上)の質問票から集計した喫煙率

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
男 (実数：人)	19.2% (3,758/19,584)	18.8% (3,573/18,968)	18.4% (3,428/18,642)	18.3% (3,300/18,045)	17.6% (2,899/16,488)
女 (実数：人)	4.1% (988/24,416)	4.0% (927/23,461)	4.0% (917/23,169)	4.0% (885/22,214)	3.8% (765/20,102)
合計 (実数：人)	10.8% (4,746/44,000)	10.6% (4,500/42,429)	10.4% (4,345/41,811)	10.4% (4,185/40,259)	10.0% (3,664/36,590)

※しずおか茶っとなシステムより(令和 2 年度は暫定値)40～74 歳

(2) がんの早期発見

①がん検診受診率

胃がん、肺がん、大腸がん検診、子宮頸^{けい}がん、乳がん検診受診率は50%以上を目指す。

項目	平成28年度	現状(令和2年度)	中間評価	目標(令和5年度)
胃がん検診受診率	19.8%	18.0%	×	50%以上
肺がん検診受診率	29.2%	27.6%	×	50%以上
大腸がん検診受診率	28.2%	26.1%	×	50%以上
子宮頸 ^{けい} がん検診受診率	37.3%	36.9%	×	50%以上
乳がん検診受診率	36.8%	36.9%	×	50%以上

○総合的な評価

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症による受診控えにより受診率が低下したが、今後も子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券の交付、土・日曜日の休日に商業施設における婦人科検診^{*}の実施や、がん検診受診券の電子申請など、市民の利便性の向上を図り受診率向上に努める。

^{*}商業施設における婦人科検診

例年プレ葉浜北にて休日に2日程度実施。聖隷予防検診センターとの業務委託により検診車を出している。

○中間評価「×」に対する対応

令和2年度に受診控えをした者に対する受診勧奨、及び受診率向上のための効果的な周知・啓発に努める。

(参考) 国民生活基礎調査のがん検診受診率

40歳から69歳まで(子宮頸がんについては、20歳から69歳まで)

子宮頸(けい)がん、乳がん検診については、過去2年間の受診状況

	平成28年度	令和元年度		
	浜松市 (調査 609人)	浜松市 (調査 610人)	静岡県 (調査 2,883人)	全国 (調査 98,565人)
胃がん検診受診率	44.0%	42.4%	42.9%	42.4%
肺がん検診受診率	51.3%	50.2%	52.1%	49.4%
大腸がん検診受診率	45.3%	45.3%	44.7%	44.2%
子宮頸がん検診受診率	44.4%	45.8%	44.0%	43.7%
乳がん検診受診率	44.7%	45.5%	46.7%	47.4%

②がん精密検査受診率

精密検査受診率（精密検査受診者数／要精密検査者数）の目標値を90%とする。

（出典）健康増進課調べ

項目	平成27年度	現状 (令和1年度)	中間 評価	令和2年度 (R3.7.16時点)	目標 (令和5年度)
胃がん精密検査受診率	75.4%	73.2%	×	56.8%	90%
肺がん精密検査受診率	85.7%	86.1%	×	78.6%	90%
大腸がん精密検査受診率	62.0%	68.3%	×	57.3%	90%
子宮頸 ^{けい} がん精密検査受診率	—	74.2%	×	64.1%	90%
乳がん精密検査受診率	85.8%	86.5%	×	78.1%	90%

○総合的な評価

子宮頸がん精密検査を平成28年度に追加し、五大がん全ての精密検査結果を把握することができた。今後も精密検査受診率の向上のため、精密結果の未把握者に対し勧奨等を行っていく必要がある。

○中間評価「×」に対する対応

精密検査未受診者に対しては、年4回受診勧奨^{*}を行っているが、今後も医療機関等と連携し精密検査受診率の向上を図る。

^{*}受診勧奨

受診状況の調査票を封書にて発送

(3) がん医療体制の充実

新しい国の指定要件を満たす地域がん診療連携拠点病院の整備を目指す。

項目	平成 29 年度	現状(令和 2 年度)	中間評価	目標(令和 5 年度)
指定要件を満たす市内の地域がん診療連携拠点病院数	4 病院	4 病院	◎	4 病院

(出典) 静岡県疾病対策課調べ

○総合的な評価

—

○中間評価「×」に対する対応

該当なし

(4) 相談支援、情報提供

がん患者が、治療の早期からがん相談支援センターの存在を認識し、必要に応じて確実に支援を受けられるよう、周知を図ります。

(出典) 静岡県疾病対策課調べ

項目	平成 28 年度	現状(令和 2 年度)	中間評価	目標(令和 5 年度)
がん相談支援センター相談件数	15,932	12,337	×	20%増加

○総合的な評価

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、相談件数にも影響があったものと考えられる。

○中間評価「×」に対する対応

がん患者やその家族が必要な相談を受けられるよう周知を図り、利用者が相談しやすい環境となるよう働きかけていく。

(参考) 全国がん登録罹患数・率報告

初回の診断が行われた病院等から都道府県知事に届出

	平成 28 年度	平成 30 年度
静岡県	31,645 件	30,743 件
全国	1,111,950 件	1,099,164 件

(5) 在宅療養環境

在宅療養を希望するがん患者(市民)の意思が最期まで尊重され、在宅での看取り^{みと}を支える在宅療養の充実を目指します。

(出典) 人口動態調査(厚生労働省)

項目	平成 28 年度	現状(令和 2 年度)	中間評価	目標(令和 5 年度)
がん患者の在宅 [*] 死亡割合 ※在宅: 自宅及び老人ホーム	14.8%	19.0%	○	19.3%

* 目標は、静岡県地域医療構想(平成 28(2016)年 3 月)の訪問診療の増加割合から算出

○総合的な評価

在宅医療と介護の連携を図るために、地域包括ケアシステム推進連絡会を開催することで、多職種連携の強化や市民への ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の普及啓発を図った。

○中間評価「×」に対する対応

該当なし